



令和7年9月1日
通巻 239 号
発行
東京鋳螺協同組合
<https://www.e-neji.org/>
東京都墨田区押上 1-32-12
TEL. 03(3613)4141
ホームページでも
ご覧いただけます



『高みを目指そう』

撮影場所
六本木ヒルズ
森タワー

撮 影 日
2025 年 6 月 30 日

撮 影 者
山之手支部
双信工業株式会社
水田三喜男 氏

目 次

巻頭言	副理事長 竹内 則康	2
日本ねじ商連 第五十期通常総会報告		2
委員会だより		4
福利厚生委員会		4
流通経営委員会		6
支部だより		7
昌栄支部定例会	昌栄支部	7
墨水支部・墨田支部 合同例会	墨田支部	8
千神螺支部納涼会	千神螺支部	9
港支部・中央支部合同例会 ご報告	港支部	10
昌栄青和会だより	杉山 真一	12
昌栄青和会例会		
泰鋳会だより		
泰鋳会 旅行記	小林 哲也	12
情報室	(株) 大里 西川 佳典	14
シリーズ「私の逸品」 (有) 大沢商会	大沢 俊子	16
組合の会議		
組合員だより		17
計報		17
東鋳ゴルフ会		17
『第2回川柳の募集』について		
広報委員長 (株) 佐竹製作所 尾方 謙一		18

巻頭言

ビールにご用心

副理事長 竹内 則 康



昭和三十年代生まれの私にとって夏場の仕事あとの大人の楽しみは、ナイターをテレビで観ながらビールと枝豆をたしなむことと信じて成長してきました。が、今やそんな定番は存在しないようです。とはいえ、ビールと枝豆の組み合わせは絶対的なものと思っています。

先日その組み合わせで家でくつろぎながら二本めのビールを飲んでいると、家のものから「何を飲んでいるの?」。よく似た色違いのラベルのせいでノンアルコールビールをつきり普通のビールと思い込んで飲んでいたのでした。初めての出来事でした。それも人に言われなければ、そのまま飲み続けていたでしょう。知らずに酔った気分になっていたと思います。以前は目隠ししてもビールの銘柄を当てられたのにと、つまらないことですが、ショックを受けました。でもよく考えてみると、居酒屋で同じことが起きていてもこれまで気付かなかったのではないかと、変に反省してしまいました。

もし逆だったら? と考えました。ノンアルと思ってビールを飲んでいたら? そして車を運転したら? その場合は故意でなくても酒気帯び運転になるのだろうか? (調べてみると、無罪になった判例もあるようです) もう少し区別が出来るようにメーカーは考えるべきではないか? ビールといえどもいろいろ思いめぐらせることとなりました。

現品相違の無いように、それからは冷蔵庫のビールとノンアルコールビールの置き場を明確に区別するようにしています。

小さな事を気にする自分を改めて認識した、夏の夜でした。皆様も飲み間違いはくれぐれもご注意ください。

日本ねじ商連

第五十期通常総会報告

去る七月二十五日、神鉄協の協力により日本ねじ商連第五十期通常総会が開催され(参加人数…4組合員+事務局合計29名)、別記のとおり九号議案まですべて可決承認されました。

新会長には神鉄協の青木宏志氏(株青木製作所)が就任されました。なお、次回(第五十二期)総会の担当は東鉄協に決定しました。

◆開催日 令和七年七月二十五日(金)

◆場所 横浜ベイホテル東急

◆議案

- 一号議案 令和六年度 事業報告承認の件
- 二号議案 令和六年度 決算報告承認の件
- 三号議案 令和六年度 剰余金処分案承認の件
- 四号議案 令和七年度 事業計画承認の件
- 五号議案 令和七年度 収支予算承認の件
- 六号議案 令和七年度 経費の賦課金額及びその徴収方法決定の件
- 七号議案 役員報酬決定の件
- 八号議案 任期満了に伴う理事・監事改選の件
- 九号議案 第五十二期通常総会開催担当組合決定の件





集合写真



退任される 馬場由喜会長



新会長 青木宏志氏

委員会だより

福利厚生委員会

上毛水上へ英気を養う大事なひと時

福利厚生委員長 (有) 齋藤鉾 齋藤隆 司



7月12日と13日に、東京鉾螺協同組合の旅行会が開催されました。

開催場所は群馬県の上毛の地・水上温泉『源泉湯の宿松乃井』。1956年創業の大型老舗温泉宿で、谷川岳を望む利根川水流に建つ4つの源泉を持つ由緒正しき温泉宿でした。館内は3つの露天風呂があり組合員の方の多くが3種類全てご利用されたのではないかと思います。

開催当日の気候は群馬県みなかみ町は最高気温25度と大変過ごしやすく、東京都内が33度34度のさなかに避暑地と呼ぶにふさわしい土地で開催することができたのではないかと思います。次回以降も近場で英気を養い、身体を休められる静養の場所での開催を模索していきますのでよろしく願います。

旅行会は組合員40名で大きな宴会場を貸し切り、美食と美酒をたしなみエネルギーに会が進みました。2次会会場ではカラオケ付きの会場で、各支部の美声の持ち主・カラオケ自慢の精鋭たちの歌声に酔いしれた夜でございました。

組合員の皆様の笑顔とビールの空き瓶の本数・日本酒の量を見て、『今回も楽しんでいただけているな!』と福利厚生委員として勝手に嬉しく感じ取った次第であります。(笑)

この旅を通じて、群馬県みなかみ町の水上温泉に来て気づいたことが、あまり外国人観光客が他の旅行観光地に比べて少なかったように感じました。

コロナ禍が明けていろいろな観光地に旅行にいくと、欧米・中国・韓国・東南アジア圏の観光客でごったがえしているのが当たり前になりました。京都や軽井沢・箱根・大阪など海外SNSを情報源にバズったエリアが大混雑の世の中になっております。

群馬エリアでも日本の若者・大学生にバズっているのは草津温泉で外国人と日本人が溢れかえっているのです。しかしSNS戦略が遅れている地域やSNSに頼らない営業をしているのかのエリアはまだ外国人やSNSで十分魅力的な土地なのに、大混雑という状況までにはなっていないという状況。

インスタやTikTokなどの動画SNSが流行する前は、もう少し観光エリアも分散されていて、観光客でごった返す京都などは外国人観光客で交通網がマヒするなどの事態が起きてはいなかったように思います。

2026年以降も日本へのインバウンドは高まる一方で、2025年は訪日外国人4623万人予想、2026年は5110万人に達す



るという予測が出ています。

オーバーツーリズムが当たり前になる今後を見据えて、物価高騰・旅行費の高騰なども見据え、個人も法人も組合も旅先や旅のスタイルを変化していく事が大事だと感じました。2026年以降の東京鉾螺協同組合の旅先に関しても、いろいろな旅先の視野や選択肢を持つてご提案・ご提供していければと思っております。

そこで東京鉾螺協同組合の今後の旅先の一例として、少し考えてみました。

①東京の良さを再認識する
奥多摩・青梅エリアの避暑旅。

②まだ外国人にはバレていない茨城県大洗のあなこ
うや海の幸旅。

③まだ外国人にはバレていない真夏も一年中涼しい避暑地千葉県勝浦で温泉旅。

④豊洲にごった返す外国人にはまだバレていない神奈川三浦半島のマグロと温泉旅。

⑤インバンドは素通りする魅力ある静岡県三島市
のうなぎと温泉旅。



一例を考えてみました。東京鉾螺協同組合の組合員様がたの経験と実績をしっかりとヒアリングしながら福利厚生委員として企画していきたいと考えておりますので、齋藤隆司の顔を見たら『穴場の旅先は○○だよ』とご教授頂ければ幸いです。

最後に、2025年はトランプ関税や参議院選挙の与党過半数割れなど下半期に向けて一層未来が読めない不安定な状況が続いていく事が予想されると思いますので、皆様様の会社のご繁栄・安定・成長を祈念して今回の寄稿を終えたいと思います。

2025年下半期もよろしく願っています。本旅行会にご参加いただきました全ての組合員の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。



流通経営委員会

流通経営委員会セミナー報告

流通経営委員長 (株) 鑑定本店 金 枝 総 吉



説されることで、大変ご好評をいただいております。

今回の講演では、トランプ前大統領の関税政策を中心に、多角的な分析が展開されました。一見、トランプ氏の発言は感情的・突発的に見えることもありますが、実は一定の理論と戦略に基づいた行動であると真田氏は指摘されました。表面的にはアメリカの貿易赤字の解消を目指すように見える政策も、実際には米国の覇権維持を念頭に、特に中国を孤立させるための周到な中国包囲網を構築する戦略と捉えられます。中国との関係が深い国々に対する圧力も、その一環として説明されました。

また、ロシア・ウクライナ戦争が引き金となって世界的にインフレが進行し、アメリカでは金利の引き上げが続いています。その中で米国は、経済のデフレ方向への転換を目指しながら



講演する真田氏

ら、ロシアとウクライナの戦争終結を模索しているとされています。しかし進展が見られないため、別のインフレ要因となる中東情勢？とりわけイスラエルとイランの対立？の火種を早期に抑えるべく、イランの核施設への攻撃を行った可能性もあるとの見解が示されました。

最終的にはアメリカ国内での製造業の復活を目指し、技術流出を防ぎつつ、高度な部品・製造装置・新素材の開発を推進しているという、米国の長期的な国家戦略についても言及されました。

一方、日本については、外国人の受け入れやインバウンド需要、さらには食糧政策など、多くを国外に依存した構造となっており、真田氏は「日本が真に目指すべきは『自立した国家』である」と強調されました。

世界と日本がどう向き合っていくべきか？国際政治の裏側にある「本質」を鋭く読み解いた真田氏の講演は、参加者に深い気づきと問題意識をもたらす貴重な機会となりました。



セミナーの様子

支部だより

昌栄支部定例会

― 昌栄支部 ―

6月20日(金)、上野にある「過門香」にて定例会を開催しました。6月とは思えないほどの強い日差しが街を照らし、まるで真夏のような日でした。気温は30度を軽く超え、アスファルトの照り返しが肌を刺す様です。梅雨を飛ばして夏になってしまったみたいでこの先が思いやられる日となりました。

今回は面本事務局長を迎えての例会となりました。ドクターストップにより禁酒状態であるにもかかわらず例会に参加していただいた面本事務局長には感謝申し上げます。総勢17名の参加があり賑やかな会となりました。面本事務局長、今西支部長、杉山氏からご挨拶をいただき、清水氏による乾杯のご発声にて会がスタートしました。「過門香」は高級感のあるモダンチャイニーズな空間が特徴の本格中華料理のお店です。豪華なコース料理とお酒をいただきました

から各々が談笑をし、楽しい時間を過ごせたことと思います。
これから開催予定の納涼会や支部旅行の話題もあり、計画の詳細が固まりつつある様でした。年末にかけてイベントが多くなっ

てくる時期であり、一つひとつの予定を楽しみとすることでこの暑さを吹っ飛ばそうと思います。

(有)トキザキファスナー 時崎雅広



墨水支部・墨田支部 合同例会

― 墨田支部 ―

マハナネジ(株) 真嶺 耕治

上野 翠鳳本店にて令和7年6月5日(金) 午後6時30分より、墨水支部との合同例会を開催いたしました。

まずは墨田支部 洞下支部長のご挨拶、そのまま乾杯のご発声で例会が始まり、和やかなムードでご歓談。お互い、知った顔ぶれがほとんどの為、違和感なく近況や昔話で盛り上がりがあります。丸テーブル3卓で両支部が交互の座席になるよう配置したため、新しいメンバーはやや緊張の面持ちでしたが、時間が経つにつれ緊張もほぐれた所で、自己紹介をして頂きました。前回は、平成21年という事で16年ぶりになります。今思えば自分が初めて参加した例会が合同例会で、あいさつ回りで大変だったと記憶がよみがえりました。メンバーも若手が増え改めて時の流れを感じつつ、紹興酒に酔いしれている内に、あっという間に時間が過ぎ、墨水支部 金枝会長より中締めにて1次会は終了。その後、有志が集まったメンバーと近所の『二の倉 上野店』に移動、墨水支部 成島氏の乾杯で大盛り上がり、ワイワイガヤガヤとしている内にあっという間に閉店時間の為、最後 墨田支部 半澤氏の1丁締めにて終了いたしました。

出席者 合計20名(敬称略)

墨水支部

金枝一則、金枝剛史、大塚伸之、内田佳菜子、篠崎隆広、

小林哲也、竹内則康、成島寿隆、平戸真澄、張ヶ谷立、松原秀雄

墨田支部

洞下泰成、松島洋介、岩楯淳、尾方謙一、吉田等、成田伸一郎、

半澤勇太、吉田幸司、真嶺耕治



我々にとつての「定番中の定番」の納涼会

— 千神螺支部 —
東京銀螺産業(株) 阿部 誠

昨今の酷暑の中で「納涼」という言葉を使いながらも、「本当にどこまで納涼できるのだ」という本音を覗かせる向きもあるのは否定できない。しかし私たち千神螺支部の面々にとっては「これがなくては夏本番という気分にならない」というほどの存在感を持つのが神田末広町にある鰻の名店「久保田」での納涼会である。支部メンバーの多くはプライベートでも鰻といえどもこちらにお邪魔しているのだが、やはり支部納涼会は特別だという新たな気持ちで扉を開ける。そして今年も七月十七日(木)にこちらで賑やかに開催となった。

弊支部と「久保田」の付き合いといえればそれはそれは長く、支部会に参加させて頂くようになってからわずか十年ほどの私にその重みがわかるはずもないが、細かい改装を繰り返しながらも年季を重ねた外装と内装、昭和の頃を思い起こさせる急な階段、ここ十年ほど不思議なくらい加齢の影響が感じられない元氣さの女将にお会いすることで、今年もここで納涼会が開催できたことの喜びを再確認する。

さて、納涼会の目的は美味しい鰻といつもの楽しい会話でこの暑い毎日の疲れを癒し元氣を回復すること。私の拙い支部長挨拶や組合報告は失礼ながらできる限り短時間にお



今回の納涼会の写真ではありませんが、こんなイメージです

さめ乾杯へと流れる。お店が「我々の定番」であるようにコース料理の内容も毎年おなじみの定番の内容、涼しげな小鉢に始まりうな重までの全員が承知した流れではあるが、それがいいのだ。肝焼きが出てきたときにみなさんの顔が少し嬉しそうに見えるのもいつも通り。数種類の料理から自分好みのものを選ぶ「選択料理」でちよつとした駆け引きがあるのもいつも通り。そしてうな重が提供される前に、店内で食べるかお土産にするか、店内で食べるならご飯少なめにするかどうかで一瞬迷うのもいつも通りというのがまた心地よい。

そして何よりいつも通りなのが各自好きな酒を注文し楽しみながらのにぎやかな会話である。私自身の本音を言えば、弊支部のとてもリラックスできる雰囲気の良いところは先輩方の優しさによるものだと感じている。年少のものが必要以上に気を遣うこともほとんどなく、私の記憶には先輩方から逆に気を遣っていただき恐縮したことばかりが残っている。以前とある先輩に「初めて支部会に出てきたときから全然緊張しなかったよな?」と言われことがあるが、それは私の図々しさによるものだけではないと思われる。

そして会にはコース中盤の煮物をいただくあたりから本格的にお酒も進み、会話も楽しくヒートアップし、うな重が供される頃にはお腹はなかなかの満腹感。それでも以前と比べると少しだけ品数を絞ったコースでお願いしていることもあり、ほぼ全員が店内で食べることを選択したため、最後まで全員で楽しみを共有できるというのがまた喜ばしい。

すっかりリラックスした雰囲気の中、とても明るい締め挨拶もいただき賑やかなまままでのお開きとなる。毎回支部会の開催場所に頭を悩ませるのも楽しいものだが、この「久保田」のように毎年変わらず訪れる場所、言い換えれば帰ってくる場所があるのは本当に有難いと思いつつここに帰ってくるのを楽しみにしよう。

港支部・中央支部

合同例会 ご報告

(株) ユタカ産業

野口俊家

去る六月二五日、田町駅近くのイタリアンレストラン『CORE』で港支部設営による合同例会が行われました。当日は港支部十一名、中央支部四名の合計十五名による合同例会です。私は出がけに打合せが延びてしまい、又エイヤッ! とばかりにタクシーを飛ばしましたがあいにくの首都高渋滞で開始時間ギリギリになって到着することになり、勢ぞろいした皆様の冷たい視線を感じつつ平身低頭で着席しました。

さて進行ですが、先ずは両支部長のご挨拶から始まって、型通りに乾杯して例会と会食が同時進行です。和気藹々の内に食事も進んで、皆さまの自己紹介を兼ねた近況報告をしていただき、ますます場が盛り上がっていきます。出席者も互いに旧知の方々が多く、あちらこちらで話に花が咲きました。ただお店の造りが細長く、通路も狭くどうしても向かい合わせでの会話なものですから群雄割拠は仕方なしです。お料理での特筆はサラダたっぷりでお肉が豊富、それとクリームパスタが有名ですが、それにフォカッチャがついているので、麵食了後、ソースをフォカッチャで楽しむ事ができるなどお得感満載です。勿論飲み放題のセットなのでお酒も皆さま随分進みました。

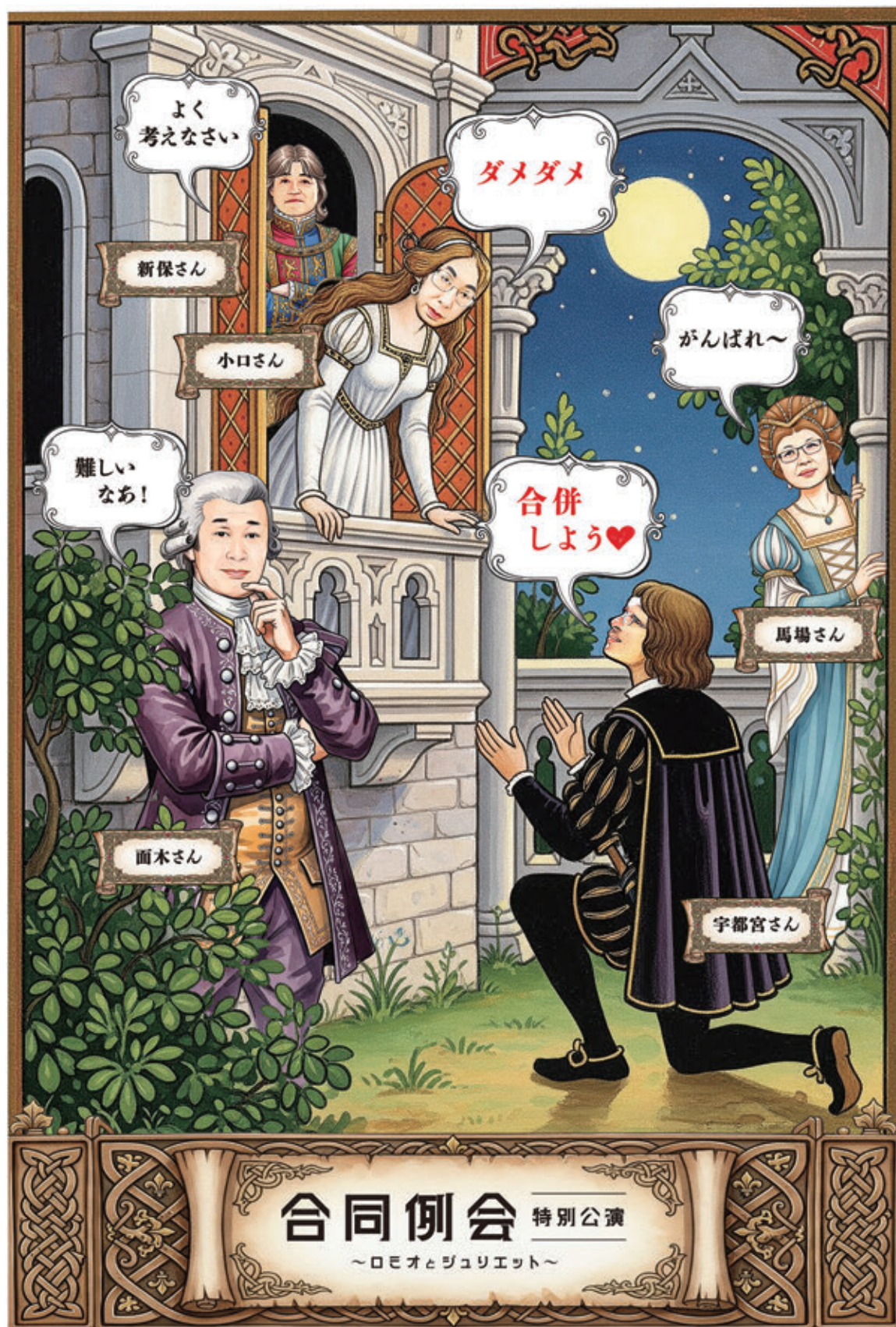
話題は様々ですが私は意識的に中央支部の方々に港支部との合併話をして反応を見る事にしました。当然ですが他支部からの誘いもあるとの事で中々競争率が高い話です。私などは動機が不純で中央支部さんと合併できれば、もれなく例会は銀座であろうと期待しているので、かなり合併推進派です。しかし議論が深まるにつれ各支部の事情もあり、又支部ごとにそれぞれの特色やら風潮やら事情から、皆様支部間同士互いに仲はよいけど、合併となると慎重意見も多々あるとのことです。港支部は現在十八社で

大小さまざまですが、中々支部の日常活動に常時参加という訳にはいかず、大抵は執行部構成員中心の活動という事になってしまっています。その中で役割を順番にローテーションしているのが現状で、現会長が最若年で後がなかなか追いつけません。そういった訳で、どこか他支部様との合併を実現して東浜協本体を支える支部活動を継続したいというのが本音で希望です。弊社(ユタカ産業)も長女に社長を譲ってはい入るのですが、子育てと業種の多角化で中々組合活動では私と交代出来ていません(本当に申し訳ない)。どうも私見や私事になってしまいました。

楽しく食べたり話したりしている内にお外もやや夜の気配となりました。締めは私が遅刻? ではないけど皆様をお待たせした罰ゲームとしてお引き受けて、指での一本で締めとさせていただきます。家路に就く人、もう少しとばかりに二次会の場所に移動する人など三々五々解散して無事に合同例会を終える事ができました。それでは、『いつかどこかで、また明日』(渡邊昇さん口癖です)

*写真代りにAIでイラストを作ってみました。あつという間に6デザイン位できるので、話題からいうとこれかな?





昌栄青和会だより

昌栄青和会例会

昌栄青和会 (株) 杉山商店 杉山 真一

梅雨の気配が感じられるようになった中、6月6日(金)に日暮里の秦准閣にて青和会定例会を行いました。

今までも会友の皆様を中心に昌栄支部の方々へ個々にお声掛けし、定例会にご参加頂く事もございましたが、今回は昌栄支部の皆様全員にお声掛けさせて頂きました。

初めての試みであり、どれだけ人数が集まるのか、しっかりと定例会を進行出来るかなど、私の力量に不安を感じておりましたが、当日は昌栄支部から9名の方にご参加頂き、会員含め14名での開催を迎えることが出来ました。

定例会の議題と致しましては、来年に迫った60周年の記念事業について(有)山甚鉄螺 山田氏に幹事を務めていただき、事業内容として旅行会を行う事となりました。参加された昌栄支部の皆様からも多くのアドバイスを頂き、より充実した議事になりました。

私を含め会員5名、会員数の減少を目の当たりにする中で、普段の定例会とは違った賑やかな定例会・会食となり、今後も昌栄支部のご協力を賜りながら、時代や状況に沿った会の運営に努めます。

今後とも、ご指導ご鞭撻下さいます様宜しくお願い申し上げます。

泰鉄会だより

泰鉄会 旅行記

泰鉄会 (株) コバユウ 小林 哲也

5月23日(土)25日に、泰鉄会石垣島旅行会が開催されました。このたび旅行記の執筆を依頼いただきましたので、拙筆ではありますが記させていただきます。今年の泰鉄会のテーマは「つなぐ」であり、その中の一つに今年ご卒業される先輩方の想いをつなぐことをあげております。今回の旅行先もそのテーマに沿って選定されました。

初日は羽田空港に集合し、約3時間のフライトで石垣島へ向かいました。石垣空港に到着後、早速「エメラルド色の海を望む展望台」へ。石垣島と八重山諸島を一望できる絶景を楽しみました。その後ホテルにチェックインし、0次会へ向かわれる方やお土産を買われる方など、各々が夕食までの自由時間を過ごしました。

夕食は「源総本店」にて、石垣島近海で獲れたマグロをはじめとする鮮魚や、もずく、烏らつきょうなど沖縄ならではの料理を堪能しました。ただ翌日はダイビングのため深酒は厳禁とのこと、いつもより皆さん飲む量を抑えていました。会としては一次会で解散となりましたが、沖縄ではシメのステーキが定番とのこと、私は何名かの方々とともに「やつぱりステーキ」へ。食べられるか不安でしたが、意外と食べやすく、あつという間に完食してしまいました。

二日目の朝、皆さんは早くからダイビングへ出発されましたが、恥ずかしながら私は海が苦手なため別行動させていただき、ホテル周辺を散策しておりました。ユークレナモールでお土産を選んでいると、突然の大雨と雷に見舞われ、ダイビングに影響が出ていないか心配になりましたが、合流した後皆さんに伺ったところ、幸いダイビング中は雨も止んでおり問題なかったとのこと。海中で撮影さ

れた写真も見せていただき、まるで自分も一緒に潜ったかのような気分を味わうことができました。

昼食に「川平公園茶屋」にて八重山そばをいただき、雨も上がったため川平湾の白砂の浜辺を散策。その後「ミルミル本舗」に立ち寄り、石垣島産の牛乳や果物を使ったジェラートを味わいました。ハンバーガーも美味しいと評判で、注文されている方もいらっしゃいました。そしてJAの直売所「ゆらていく市場」では、パイナップルや石垣牛などの特産品が数多く並び、皆さん思い思いにご家族へのお土産を購入されていました。

夕食は「石垣牛MARU」にて、鮮度抜群で生でも食べられるかもと聞いていた石垣牛を堪能しました。前日にあまり飲めなかったこともあり、この日は皆さんお酒も進んでいました。二次会では、歌手の夏川りみのご姉妹が経営されているスナック「花あかり」へ。ご姉妹による涙そうそうの歌声を聴くことができ、大変盛り上がりしました。

三日目は「ドルフィンファンタジー」にてイルカとのふれあい体験。トレイナーさんからイルカの解説や注意事項の説明を受けた後、イルカと間近でふれあうことができました。トレイナーさんの合図で様々な芸を見せてくれるイルカたちに、心癒されるひとときを過ごしました。

昼食は「ナチュラルガーデンカフェ プカプカ」にて、石垣の海を眺めながらのBBQ。飲み放題というところもあるのか、泡盛のなるペースがとて速かったのが印象的でした。

こうして全ての行程を終え、石垣空港から羽田空港へ戻り、現地にて解散となりました。

最後になりますが、幹事のお二方には大変充実したスケジュールを企画・運営いただき誠にありがとうございました。そして今年ご卒業される岩楯様はじめ、ご参加の皆様と共に楽しい時間を過ごせたことを感謝申し上げます。



情報室

難しい AI 活用、
まずは議事録から

広報委員 (株) 大里 西川 佳典

近年、「AI (人工知能)」という言葉を目にする機会が格段に増えました。業務の効率化や人手不足の解消に役立つとされるこの新しい技術に、関心を持たれている方も多いのではないのでしょうか。しかし一方で、AI といっても何から取り入れればいいのか、自社の業務にどのように役立つのが見えず、なかなか踏み出せないという声も耳にします。そんな中、私が今注目しているのが、AI 機能付きボイスレコーダー「PLAUD NOTE (プラウドノート)」です。これは、AI の力を無理なく業務に取り入れることができる、現実的で実用的なツールの一つだと感じています。

企業活動において、会議や打ち合わせの記録は欠かせないものです。当社でも、議事録は担当者が会議中にメモを取りながら進行し、終了後にそれをもとに文章をまとめる、という形で作成してきました。しかし、発言のスピードが速かったり、複数人が同時に話したりすると記録が追いつかず、抜けや漏れが生じがちです。また、作成した議事録の保存場所やファイル名にばらつきがあり、後から必要な情報を探すのに時間がかかるという課題もありました。

PLAUD NOTE は、そうした課題の解消に一役買ってくれる製品です。名刺サイズの小型機器ながら、音声の録音と同時に、AI が自動で文字に起こしてくれるという機能を備えています。会議の内容をその場で文章化し、誰が何を発言したのかを整理して記録してくれます。さらに、要点を抜き出してまとめてくれる機能もあり、これまで手作業で行っていた議事録作成の大きな助けになると期待しています。

文字起こしされた記録はクラウド上に自動保存され、検索や整理も簡単です。私たちも現在、一部の会議で試験的に使用してみています。が、操作もシンプルで、録音ボタンを押すだけという直感的な使い勝手に驚かされました。パソコンやスマートフォンが苦手な社員でも問題なく扱えると感じています。

また、この機器は議事録だけでなく、営業担当が商談の内容を記録したいときや、研修の講義内容を残したいときなど、さまざまな業務にも活用できそうです。特に商談では、言った言わないの行き違いを防ぎ、より正確な提案につなげることができそうですし、研修では記録をそのまま資料化して、他の社員への共有にも役立てられます。

現在、当社では PLAUD NOTE の導入を本格的に検討しており、これに合わせて議事録の作成・保管をはじめとした社内の情報管理の仕組みそのものを見直す方向で準備を進めています。こうした技術がうまく取り入れることで、日々の業務をより確実に、効率よく進めることができるのではないかと感じています。

AI というとまだ縁遠く感じる方も多いかもしれませんが、PLAUD NOTE のような実務に即した道具を通じて、身近な業務の中から少しずつ取り入れていくことが、これからの時代には求められていくのかもしれない。まずは「記録」という業務から。AI の力を味方にして、働き方を見直す一步を踏み出してみてはいかがでしょうか。





手のひらに収まるサイズ



使用イメージイラスト

私の逸品

生涯現役、常に目標を持つ

城南支部 (有) 大沢商会 大沢 俊子

今回、「東鉦」への寄稿依頼を受け、私が？ かと驚きましたが、長年生きてきた中で、目標としてきた気持ちを表現することになりました。

一人前の人間として扱ってもらうには、豊富な知識を持つことだと思っています。そこで、私は常に仕事をしながら勉強（習い事も含む）もしてきました。性格的にいろいろな事に興味がありましたので、書道、華道、着付、お茶、礼法、保育士免許、簿記検定など、ひととおり学び極めたと自負しております。

他の方々からは簡単と思われるかもしれませんが、それがそうでもありません。

例えば着付などは、日本の歴史に始まり、布の知識、お作法（エチケットやマナー）などが含まれており多岐にわたります。着付をしている間に、お相手へ着物の知識を伝えることが、文化の継承となるなど奥が深く、習い事であっても深く掘り下げて勉強してきたことが、今の自分に繋がっていると感じております。

今は生涯現役ですから、健康で一生を過ごすため「最後まで自分の力で歩く！」と身体を動かすことに興味を持ち、70歳半ばから、ホットヨガを始め、一週間に3〜4回通うことを自分に課しどこまで挑戦できるか、楽しみながら実行している毎日です。

そして、ホットヨガからもたくさんの気づきがあり、まだまだいろいろな挑戦をしようと期待に胸を膨らませ、充実した毎日を送っております。

今年80歳、人生これからです！



組合の会議から

◇五月

一三日

規格委員会

午後六時三〇分（東鋳会館）

◇六月

三日

福利厚生委員会

午後六時（東鋳会館）

一一日

流通経営委員会

午後六時（東鋳会館）

一七 日

広報委員会

午後六時（東鋳会館）

二七 日

総務委員会

午後六時（東鋳会館）

◇七月

七日

理事会

午後五時三〇分（東鋳会館）

◇八月

七日

総務委員会（納涼会）

午後六時（維新號 銀座新館）

二一 日

規格委員会（納涼会）

午後六時三〇分

二七 日

総務委員会

午後六時（東鋳会館）
（亀戸升本 本店）

組合員だより

◇住所変更

港支部（株）ウチダ（令和7年6月25日より）

〒140-0013 東京都品川区南大井3-18-6

南大井MCビル1F

電話…03-6404-9951

FAX…03-6404-9952

訃報

山之手支部 日本ケミカルスクリー株式会社

代表取締役 判治 文雄 様

四月十四日に逝去されました

謹んで哀悼の意を表しご報告いたします

◇東鋳ゴルフ会報告◇

本年度第2回（通算第164回）のコンペが5月20日に行われま

した。成績は左記のとおりです。

第 164 回成績
京葉カントリー倶楽部

順位	氏 名
優勝	山田 茂始
二位	石川 隆一
三位	吉田賢一郎
四位	馬場 由喜
五位	中村 勝士
六位	松島 徹
七位	野口 俊家



広報委員会

『第2回川柳の募集』について

広報委員長 (株) 佐竹製作所 尾方 謙一

毎々、組合事業推進には格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東京鉾協同組合の機関紙『東鉾』を通じて、2013年に続き、2025年の特別企画として広報委員会では『第2回川柳コンクール』として川柳を募集いたします。詳細は「川柳募集要項」をご覧ください。

会員の皆様におかれましては奮って発句いただき、「東鉾」2026年新年号にて表彰いたします。

《募集内容》

1. 応募期間 令和7年9月1日(月)～30日(火)
令和8年1月「東鉾 令和8年新年号(240号)」誌上に

誌上に

3. 表彰 最優秀賞1名、優秀賞1名、佳作2名
4. 賞品 最優秀賞・商品券2万円、優秀賞・商品券1万円、佳作・商品券5千円

5. テーマ 「締結」又は「世相」

『締結』: 「ネジ、ボルト、ナット、締める、捻じる」なんでも結構です。ネジ業界にまつわるものもろを主題にしてください。

『世相』: 2025年の話題(インバウンド、トランプ政権、備蓄米、円安等々)なんでも結構です。この時代性を表すような主題にしてください。

6. 雅号 川柳は基本的に匿名性を重要視しています。何か面白い「雅号(ペンネーム)」をつけてください。
7. 応募方法 下記のQRコードから応募フォームを開き必要事項をご入力ください。



◆川柳募集要項

1. 条件

・応募作品はオリジナルに限ります。既に発表されているものは投稿できません。

・偶然一致したものも入選を取り消します。

・応募資格者は、組合員様とその会社の社員様に限ります。

・所属会社名と雅号(ペンネーム)は必ずご記入ください。

(例: 株式会社〇〇商会 令和太郎)

2. 川柳の作り方

川柳は五・七・五の17文字で構成されます。若干の字数の増減は構いませんが、大幅な字余り字足らずは評価されません。

①「一」長音は一字に数えます。東鉾「トービョー」(4字)

②「っ」促音、小さい詰まる音は一字に数えます。取っ手(3字)

③「しゃ」拗音、文字は二字ですが一字に数えます。写真(3字)

④「ん」撥音も一字に数えます。鈍(2字)

内容は俳句ではないので季語などの決まりはなく、自由に表現してください。

川柳の特徴として『穿(うが)ち』『おかしみ』『軽み』を意識して五七五を組み立て、短い言葉の表現なので急所を外さないように作ってみてください。すこし皮肉っぽかったり、意地悪だったりするのですが、あくまでおかしみを忘れず、軽く言い放ってください。

3. 例句

『締結』 締めすぎは 強い絆も 緩むもと (欠食爺)

『世相』 TPP 聖域なしは ウノミクス (阿部ちゃん)

『締結+世相』 選手村 ボルトも食べた 水戸ナット

(ギャンブル大帝)

以上のように、ちょっとニヤツとするように作ってみてください。一回作って言葉に出してみると良いでしょう。



応募 QR コード